

明治用水頭首工 左岸応急対策

- 漏水の流入箇所を矢板や大型土のうで囲う工事を進めています。
- 矢板の設置後、できる限り流入箇所に水が流れ込まないようにするため、矢板の内側全体を土のう等で埋め、その上をコンクリートで覆います。
- その後、大型土のう等を設置します。
- 本工事は、天候にもよりますが、8月末の完了を目指します。

